

学校 教育 目標	「自主・自律」							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力と学ぶ意欲をもって、主体的に考える子どもを育てます。(知)</li> <li>・自他をみとめ、思いやりと規範意識をもって行動をする子どもを育てます。(徳)</li> <li>・健やかな体を育み、安心・安全を尊重する子どもを育てます。(体)</li> <li>・地域の中で自分を活かし、社会貢献できる子どもを育てます。(公・開)</li> </ul>							
学校 概要	創立 38 周年	学校長	鈴木 均	副校長	木村 徳篤	2 学期制	一般学級: 16	個別支援学級: 2
	児童生徒数: 622 人		主な関係校: あざみ野第一小学校、あざみ野第二小学校、黒須田小学校、荇子田小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
課題発見・解決能力 言語活動・コミュニケーション能力 自分づくりに関する能力	あざみ野中学校 あざみ野第一小 あざみ野第二小 黒須田小 (すすき野中・すすき野小・嶮山小・荇子田小)	自分らしく、共に生き、未来を切り拓く子  小中学校間で学習指導や生徒指導の円滑な接続を重視するとともに、児童・生徒間の交流や教職員の交流を積極的に図ることによって、子どもたちに必要な資質・能力を育て、「9年間で育てる子ども像」の具現化を目指す。具体的には小中授業研究会、小学生の中学校授業参観・部活動見学・生徒会オリエンテーション等を行う。

中期 取組 目標	○「チームあざみ野」として全職員で「共有」「共感」「協働」を合言葉に「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指します。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒を理解し、認め、励まし、一人ひとりを伸ばす教育を行います。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びに通じる指導を充実するとともに、「分かる授業」「魅力ある授業」を実践します。</li> <li>・自己肯定感を高め、お互いに認め合う人間関係、思いやりのある心を育てます。</li> <li>・地域とのコミュニケーションを通して、信頼関係を深めていきます。</li> </ul>

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b>	各教科で指導主事を招いた研究授業・研究協議等を引き続き行い、生徒にとって主体的・対話的な深い学びにつながる授業を行う。また、生徒による授業評価の集計結果をもとに各教科で授業改善を行い、生徒が何が分かり何ができるようになったか実感できる授業を行う。
担当 学習部・教務・研修係	
<b>豊かな心</b>	道徳の授業や体験活動を通して自他の生命や人権の尊重、規律ある生活、自己の将来、きまりの意義などの理解を深める。また、様々な体験を通して自己肯定感を高めお互いに認め合う人間関係と思いやりの心を育てる。
担当 学習係・道徳推進教師	
<b>健やかな体</b>	学校内外の活動に積極的に参加することを推奨したり、授業や行事、部活動等に積極的に参加すること進めることで、運動に親しむことができる生徒を育てる。また、委員会活動を通して自らの健康管理やけがの防止、安全防災について学校全体の意識を高める。
担当 保健安全部・保健体育科	
<b>特別支援教育</b>	特別支援教育委員会の機能を生かし、全職員が課題のある生徒への理解を深めると共に、個別の指導計画を活用し、個に応じた指導ができるようにする。また、不登校アクションプランの作成、活用することで不登校生徒へ組織的な対応を行う。
担当 特別支援委員会	
<b>生徒指導</b>	「共感」の気持ちを大事にして生徒や保護者の対応において聞くことを重視する。生徒一人ひとりに寄り添い、「誉める」「認める」ことに心がけ、生徒の自己肯定感、自己有用感の向上に努める。また他者を理解し、助け合う精神を育む。
担当 生活指導・教育相談係	
<b>キャリア教育 平和学習</b>	キャリア教育、平和学習、等を軸に、探究的な学習に取り組みさせる中で、課題発見・解決能力の育成を目指し、学び方やものの考え方を身につけさせる指導を行う。さらに多面的に自己の生き方を考えることが出来るように、教科横断的で総合的な学習も取り入れる。
担当 学習・総合係	
<b>開かれた学校</b>	学校だより等を通じ、学校の様子を保護者・地域に発信したり、定期的に学校参観の機会を設けることで同じ目線に立って話ができるような場を増やす。地域のボランティア活動への参加者をさらに増やすために、PR活動を積極的に進める。
担当 小中・地域連携係	
担当	
<b>いじめへの対応</b>	「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を授業や学校行事場面で活用する。生徒一人ひとりの状況について把握するように努め、「いじめ基本方針」をもとに、校長をリーダーに担任や各学年教諭、生徒指導専任教諭、生徒指導部からなるチームの支援を進める。
担当 いじめ防止対策委員会	
<b>人材育成・ 組織運営 (働き方改革)</b>	メンターチームを組織すると共に、報告・連絡・相談を日常化し、日々の職務の中での助言・指導を適宜行うことで若手の育成に努める。また学校の現状をしっかりと分析し、既存の職員組織の定期的な評価と見直し・改善に努める。職員室業務アシスタントの導入により各教職員の業務負担の30%削減を目指す。
担当 学年連絡会・企画会	